

[19\_3] 図書館情報 : 九州大学附属図書館報 :  
19(3)

<https://doi.org/10.15017/17991>

---

出版情報 : 図書館情報. 19 (3), pp.25-32, 1983-10-25. 九州大学附属図書館  
バージョン :  
権利関係 :



九州大学附属図書館報

# 図書館情報

The Kyushu University Library Bulletin

Vol. 19, No. 3 (1983, 7~9)

## 目次

- 附属図書館長就任のあいさつ ..... 25
- 図書館業務電算化ニュース ..... 26
- 中央図書館におけるオンライン情報検索サービス ..... 27

## 附属図書館長就任のあいさつ

高野 桂 一

このたび、本学の附属図書館整備充実構想のまとめ役として多大の御尽力をいただいた塚原前館長の後継役を仰せつかり、これからの「構想」の実現と課題の達成に向けて覚悟を新たにしているところです。

私の今後の課題と責務を一言でいえば、昨57年12月に附属図書館体系検討委員会及び図書館商議委員会の御苦勞によって集大成され、決定された前記「構想」を基本路線としてふまえ、その実現に向けてできるかぎりの努力をいたすことだと考えて



います。九州大学の附属図書館体系の確立を目ざし、全学の情報図書館機能の体系的に一貫性のある量的発展と質的充実を現実のものとするために、一步でも多く前進させることを心がけていこうと思います。

本学の附属図書館機能拡充の今日的な基本課題の第一は、全学の将来の図書館体系確立の展望に立って、附属図書館の研究・学習・保存・統合等の諸機能の構造的バランスとウェイトづけとをどうするかにあると考えます。また第二は、図書館の人(Man)、物(Material)、金(Money)とその運営方法(Management)等のいわゆる4M条件の整備をどこまで合理的・効率的・重点的に行うかにあるといえましょう。なかでも、今日の国家的レベルで推進しつつある「学術情報システム」化の志向に対応する学術情報資源の共有と利用にかかわる合理化・効率化は緊急の重要課題といえましょう。

当面の具体的課題としては、すでに着々と実現の歩を進めている図書館業務の電算化と、北部九州地区大学のネットワーク化のいっそうの拡充をはからねばならないことはいうまでもありません。また、筑紫地区図書館組織、文科系あるいは工学部図書館組織、中央図書館組織の整備充

実をどうするかが課題です。(とくにさし迫った課題としては、中央図書館及び文系書庫の増築、保存図書館の改修、医学部及び教養部分館の内部施設・設備の充実、工学部図書室の整備、筑紫分館の新設計画等の推進が課題とされましょう。)

しかし、今やひしひしと肌身に迫るこの「行革」時代において、施設・設備の拡充整備、図書雑誌及び学術情報の整備充実、図書予算・職員の確保、図書館サービスの向上等どれ一つ推進するにあたって、難題が山積みしているといつてよいでしょう。基礎的条件としての人・物・金の絶対量の削減のなかで、われわれはその枠の拡張のための要求をねばり強く展開すべきはもちろんのことですが、また、その反面では、最大限の創意工夫によって質の充実をはかることを期待されているといつてよいでしょう。

ところで、今日、本学の図書館の組織と運営の技術原理としては、前記「構想」にもありますように、業務の集中と分散の両方式の長所を生かした、調和のとれた整備充実を志向することでありましょう。なかでも、学術情報源の共有と利用の合理化・効率化を進めるためには、電算化の推進はいうに及ばず、図書館の組織と運営の総体にわたるシステム化・標準化を急務としています。ここでは、文科系、理科系等の専門領域の質のちがいを尊重し生かし、学際的動向にも対応しつつ、その共通化しうる局面を見い出していく配慮のもとに、可能なかぎりのシステム化・標準化を推進することが技術的課題となってきます。しかし、現実的施策の見きわめをつけ、大局的見地に立った実践的決断を下すにはなお、さまざまな問題が潜在しているかと思われます。図書館の組織と運営の合理化・効率化の推進は、単に図書館業務に専門的に携わるものの力量の問題だけではなく、図書館の利用者の意識の向上や協力や、さらにその根底には、図書館にかかわるすべての者の社会関係の民主化を伴わなければ十分に実効をあげることができないという問題もあります。

画期的な附属図書館体系の構想が成立はしましたが、その実現過程ではむしろ地味な努力の積み重ねを要求されているようにも思われる今日の状況です。私としても、かつて教育経営学の組織論・システム論・標準化論・人間関係論等の観点から、図書館の組織・運営の合理化・効率化等の問題に関心をもったこともありますが、今日のむづかしい状況のなかでいまひとたび考え直す必要を感じています。しかし、たとえ地味ではあっても、皆さんと共に着実に前進し、21世紀に向けての本学図書館体系の実現に磐石の基礎を築くべく、微力を注ぎたいと思っています。全学の各部局の教官、職員、学生の皆さんの深いご理解とご支援のほどを心からお願い申し上げます。

### ((( 図書館業務電算化ニュース )))

#### 学術雑誌総合目録と文編データベース作成作業の進捗状況について

東京大学文献情報センターによる学術雑誌総合目録と文編全国版の作成作業が始動し、各大学・機関において所蔵データの調査・報告作業が進行している。(本誌18巻4号参照)

現在、開発の多くの部分を完了し運用を始めている北部九州地区ネットワークシステムでは、これらの作業で得られたデータを利用して、全国版への報告の他に、本地区ネットワーク加盟6大学図書館の所在情報の一元的な地域データベース化を計画し、関連の設計及びプログラム開発を終え、データ入力を行いつつデータベースの構築を開始した。この中でデータ入力の手段として、昭和58年度の特別設備費で導入した手書OCR装置を活用している。当面、読み取り精度や大量データの処理効率について、多少不安があったが、案に相違して大いに威力を発揮し、一連の作業

が順調に進捗している。

今回の和文編の作業後は欧文誌の所在情報についても同様の方法でデータベース化を図る予定であり、現在開発を進めているオンライン所在情報検索のプログラムが完成すれば利用者の研究・教育活動に多大の効果をもたらすものと期待される。

最後に、基礎データの調査やデータシートへの記入等今回の作業にご協力頂いた関係大学の担当の方々に感謝します。

### 九州芸術工科大学への目録データファイル転送処理 稼働開始

すでにオンラインを開設し雑誌業務等の業務処理を稼働させていた九州芸術工科大学との間で、図書整理・目録業務についても本年4月から入力業務を開始し、地区センター・データベース(D B)に目録データの蓄積を進めてきた。

他方、九州芸術工科大学は、S100/85システムによる独自の閲覧・検索システムを稼働させ、その図書マスターに自館のDB蓄積データを返送するファイル転送処理の開発が待たれていた。

同処理は、目録入力期間の指定により該当データをDBより抽出、芸工大図書マスターフォーマットに編集して転送ファイルを作成するバッチ処理と、芸工大受信ファイルへ転送するオンライン処理から構成され、この度、その開発・テストが完了し、9月22日に第1回の処理を実行、これまで蓄積されていた約500件のデータの転送を終えた。

このことは、端末館での図書マスターデータ作成において担当者をデータ入力作業の負担から解放するものであり今後の運用の中での多大の効果が期待できよう。また、この処理の開発完了は今次計画のオンラインネットワークシステムの中でリアル・タイム処理と並ぶ大きな柱の一つであった“ファイル転送”処理の完成を意味するものであり、必要に応じ他の業務処理においても端末館の必要ファイルの一括送受信を可能としたものである。

### 中央図書館におけるオンライン情報検索サービス

中央図書館は昭和56年4月にオンライン情報検索サービスシステムの一つであるJOISを導入し、続いて翌57年5月にはDIALOGを導入した。JOISの場合はノード局の福岡開設、公衆回線サービス開始、JOIS-IからJOIS-IIへシステムのグレードアップ等々周囲の環境が整ったこと、又DIALOGの場合もノード局の福岡開設とあいまってJOISによる1年間の経験等が当館導入に踏みきるきっかけとなった。

JOISは自然科学分野を対象としているが、DIALOGは全学問領域を対象としているので中央図書館としてはむしろ後者による広汎な検索を期待したが実際にはJOIS、DIALOG共にCA Searchがよく利用されている。又、日本語抄録がつくJICST理工学文献ファイルが工学系の研究者に好評である。

2年余りの検索サービスの経験から感じたことは次の様なことである。まず検索に関しては①キーワードを選択するのに可成りの時間とエネルギーを必要とする(研究者がディスクリプタやシソーラスに不慣れであることや図書館員に検索する分野の専門的な知識がないこと)。②中央図書館の性格上、不特定多数のファイルを使用するため、それぞれのファイルに習熟する余裕がない。③検索結果についてノイズやモレがわからない(結果に対する評価がわからない)。④料金が高すぎるのではないかと思う(結果に対する不安が影響している)。⑤常に研修を必要と感じているにもかかわらず地理的・経済的な条件が不利で殆んどシステム提供者の研修に参加できない(関東・関西地区で開催され受講料も1万円から3万円位である)。次に人に関しては①人事異動

が難しくなる（個人の資質や熟練度が影響する）。②検索が有料であるため職員に精神的な圧迫を与える（私費による検索サービスの障害ともなっている）。

今後、オンラインによる情報検索の要求は更に増え続けるであろうし、サービスを提供するシステムも充実して行くであろう。よりよい検索結果を得るために複数のファイルを使用するだけでなく、複数のシステムを使用することも必要であろう。そのためには各システムの命令語や検索手順はより使いやすく簡単なものになって行くだろう。又、JOISやDIALOGには原報サービスがあり他のシステムでも単なる2次情報の提供だけでなく1次情報もオンラインで直ちに入手できるようになって来ている。既に米国の3大データバンクの一つであるBRS (Bibliographic Retrieval Service) ではライフサイエンス・化学分野の主要なデータベース3点についてフルテキストのオンライン検索及び出力を開始している。

オンライン情報検索システムの普及は情報流通の形を変えつつあり、我々が日頃慣れ親んで来た図書館の姿も変革を迫られている様に思われる。  
(中央図書館参考調査掛)

## レファレンス・コーナー (その40)

中央図書館の参考調査掛(内線2454, 2464)では、利用者の方々から寄せられるいろいろな質問について調査の手伝いをしています。最近の質問の中からいくつかを取り上げ、調査の過程と使用した資料を紹介します。

**質問1** インドからアカゲザルを実験用に輸入したいが野生動物の保護に関して「ワシントン条約」というのがあると聞いた。その条約とはどんなものか。

**回答例** 「環境保全資料総覧」(環境庁発行)によると「ワシントン条約」の正式名称は「絶滅のおそれのある野生動植物の種の国際取引に関する条約」で日本の加入年月日は昭和55年8月6日である。「法令全書」昭和55年8月号で条約の全文を見ることができる。

**質問2** オーストリア人で現在Wien大学医学部教授であると思われるSeitelberger, Franzについて略歴を知りたい。

**回答例** Who's who in Science in Europe, 3. ed. 1978及びKürschners Deutscher Gelehrten-Kalender, 1976に記載されている。後者の方が研究業績等に詳しい。これはドイツ語で学問的発表を行っている研究者の人名録なのでオーストリアやスイスの研究者も含んでいる。

**質問3** 江戸期(?)に出されたという「十三往来」にあるという津軽の十三湊(ジウサンミナト)についての記述を見たい。

**回答例** 「国書総目録」などでジウサンオウライと検索したが見つからない。「増補大日本地名辞書」(富山房)の第7巻奥羽によると「十三(ジフサン)」の項に“古はトサともいう”とあり妙見堂山王坊の遺詞と伝えられる「十三往来」からの引用がある。「国書総目録」をトサオウライで検索すると該当する項がありその中に「津軽のしるべ」という標題で明治33年に活字出版されたとある。「津軽のしるべ」は大正4年の訂正増補版を法学部が所蔵している。

**質問4** 「木下杢太郎全集」(岩波書店)第11巻の中のエッセイ「本・図書館」に“バリの図書館でカルタスを写した”という記述があるがカルタスとは何か。

**回答例** 同全集の該当箇所には“僕はここに『カルタス』やアマチの『奥州記』などを写しに通った”とある。カルタスを百科事典や目録類で検索したがわからない。“アマチの『奥州記』”と関連があるかもしれないと思い「日本歴史大辞典」(河出書房)でアマチを検索すると以下の様な記述があった。“Scipione Amati: 17世紀はじめのローマの学者。遣欧使節支倉常長一行の通訳・事務官としてマドリッドからローマに随行。著書に伊達遣使録『奥州記』(1615年ローマ版)がある。1617年独訳され木下杢太郎の抄訳が「えすばにや・ぼるつがる記」にある。”「えすばにや・ぼるつがる記」(岩波・昭4)に“千五百九十八年出版の「日本よりの書簡集」(Cartas do Japão)”云々とある。「カトリック大辞典」(富山房)でキリシタンの項を見ると“イエズス会の日本通信”の小項目があり、16世紀後半日本に渡来した宣教師がローマや故国へ出した書簡(集)がCarta(s)と

して種々の版で刊行されたことがわかる。

**質問 5** BHRA Proceedings of Hydrotransport 4 について書誌事項を知りたい。

**回答例** 「学術雑誌総合目録 自然科学欧文編 1979」にB.H.R.A.を冠した誌名が数点あるが該当するものはない。会議の報告と考えられるので BHRA は主催団体名と推察する。「World guide to abbreviations of organizations」5. ed. 1974にBritish Hydromechanics Research Associationというのがある。これを団体標目としてL.C.のユニオンカタログを見るとInternational Conference on the Hydraulic Transport of Solids in Pipes, 3rd, 1974. Proceedings of Hydrotransport 3.へ参照されていた。同会議名でJICSTの所蔵目録に第4回(1976)の記載がある。

**質問 6** Y. Sano, in Formation of fibers and development of their structure (in Japanese) ed. by the Society of Fibers Science and Technology. Japan, Kagaku Dojin, Kyoto, 1969. Author: K. Katayama. この論文を入手したい。

**回答例** Sano, Y.では書誌や目録カード等で見つからない。Society of Fibers ...をDirectory of Japanese Learned Societies(1970)で調べると繊維学会であることが判明。「日本書籍総目録1977~78」の著者索引で繊維学会の下に「繊維の形成と構造と発現Ⅱ, Ⅲ(化学増刊45, 50)」とある。上記タイトルのⅠは「化学増刊39」(1969)にあたりp.159~176に片山健一の論文があるのでこれを紹介した。

## 第4回 大学図書館研究集会に参加して

園 田 国 昭

今回で第4回目を迎える大学図書館研究集会(日本図書館協会大学部会・国公立大学図書館協力委員会主催)は、9月11日より13日まで、埼玉県・嵐山の国立婦人教育会館で開催された。

これからの大学図書館が避けては通れぬ「学術情報システム」構想を基調にした「大学図書館情報システム化をめぐる諸問題」のテーマの下に、全国の大学図書館から160名余の参加者が結集し、全体会、夜の懇親会、5つの分科会(レファレンス、相互協力、目録—逐刊、目録—図書、コンピュータ)にわたって熱心に討議を交わし、親交を暖めて終わった。

分科会は目録(図書)に参加した。例年、この分科会の参加者が最も多いということであり、大小の図書館(室)、マニュアル作業から機械化に着手している一部の図書館まで、各層の参加者があり、これがよく現在の目録の状況を象徴しているように思われた。

石井啓豊講師(国文研)は、この状況がかかえている問題点を、自館のレベル、国レベル(学術情報システム)、国際的なレベル(目録規則の改訂、MARC化)とに腑分けして適切に指摘された。例えば、参加者の発言中に、印刷カード(MARCと置きかえてもよい)を利用しているが送られてくるものが自館の編成に適合しないケースがあるという報告があり、自館のレベルがすでに国際的な目録の動向に抵触しており、その動きと無縁ではない状況を語っていた。

目録規則の改訂や機械化はこの矛盾の解決を組込んだものに向かおうとしている。記述と標目の分離、アクセスポイントの平等化と多様化、入力フォーマットと出力形成の切断(カードは入力即出力形)等にその動きをみてとることができる。

加えるに、目録担当者をいつも悩ませ立止らせている書誌の構造や記述の細部、アクセスポイントの形式等、これまで点として自館毎の悩みであったものが、一つ(と仮想させる)のデータベース形成に吸収されて全国の目録担当者(=利用者)の共有財産になるようなシステム作りが待たれている。

それがなければ、タイプがディスプレイ端末に変わっても、目録分科会がかかえている千差の問題状況は今回と変わらないように思われた。

機械化の事例がいくつか報告された。北部九州地区ネットワークの現状についても報告し、たくさんの方の励ましをいただいたことを報告しておきます。

(中央図書館目録情報掛長)

((( 図書館統計 )))

昭和 57 年度 図書館 統計

—— 昭和57年度大学図書館実態調査報告から ——

| 部<br>局<br>事<br>項 | 蔵 書       |           |           |        | 数      |        |        |        | 年 間 書  |        |       |        | 受 入     |         |       |   | 館 外 貸 出 冊 数 |   |       |   |
|------------------|-----------|-----------|-----------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|--------|---------|---------|-------|---|-------------|---|-------|---|
|                  | 図 書       |           | 雑 誌       |        | 和      |        | 洋      |        | 和      |        | 洋     |        | 和       |         | 洋     |   | 学 生         |   | 教 職 員 |   |
|                  | 冊         | 種         | 冊         | 種      | 冊      | 種      | 冊      | 種      | 冊      | 種      | 冊     | 種      | 冊       | 種       | 冊     | 種 | 冊           | 種 | 冊     | 種 |
| 中 央 図 書 館        | 270,626   | 66,754    | 337,380   | 4,611  | 1,653  | 6,264  | 15,355 | 3,581  | 18,936 | 1,485  | 540   | 2,025  | 28,953  | 1,935   |       |   | 30,888      |   |       |   |
| 医 学 分 館          | 107,501   | 128,944   | 236,445   | 1,552  | 3,216  | 4,768  | 2,047  | 4,116  | 6,163  | 743    | 1,592 | 2,335  | 22,983  | 23,713  | 22    |   | 46,718      |   |       |   |
| 教 養 部 分 館        | 154,254   | 79,809    | 234,063   | 1,162  | 889    | 2,051  | 4,612  | 3,779  | 8,391  | 738    | 590   | 1,328  | 12,282  | 11,884  |       |   | 24,166      |   |       |   |
| 文 学 部            | 227,013   | 108,763   | 335,776   | 2,756  | 825    | 3,581  | 4,323  | 2,295  | 6,618  | 1,735  | 402   | 2,137  | 7,643   | 2,508   | 95    |   | 10,246      |   |       |   |
| 教 育 学 部          | 31,685    | 36,014    | 67,699    | 591    | 338    | 929    | 1,183  | 1,670  | 2,853  | 566    | 208   | 774    | 1,473   | 802     | 15    |   | 2,290       |   |       |   |
| 法 学 部            | 98,706    | 122,567   | 221,273   | 819    | 684    | 1,503  | 2,067  | 2,705  | 4,772  | 609    | 370   | 979    | 1,117   | 1,567   | 1,051 |   | 3,735       |   |       |   |
| 経 済 学 部          | 103,281   | 81,088    | 184,369   | 2,517  | 1,868  | 4,385  | 3,727  | 2,761  | 6,488  | 678    | 355   | 1,033  | 3,788   | 1,188   |       |   | 4,976       |   |       |   |
| 理 学 部            | 30,405    | 85,639    | 116,044   | 1,233  | 2,322  | 3,555  | 547    | 1,915  | 2,462  | 918    | 1,585 | 2,503  | 15,078  | 20,483  | 1,303 |   | 36,864      |   |       |   |
| 薬 学 部            | 5,009     | 11,112    | 16,121    | 158    | 197    | 355    | 120    | 114    | 234    | 110    | 111   | 221    | 1,025   | 513     |       |   | 1,538       |   |       |   |
| 工 学 部            | 114,616   | 157,744   | 272,360   | 1,375  | 2,253  | 3,628  | 3,029  | 4,095  | 7,124  | 1,381  | 1,125 | 2,506  | 31,766  | 31,081  | 1,447 |   | 64,294      |   |       |   |
| 農 学 部            | 118,618   | 114,337   | 232,955   | 3,017  | 3,264  | 6,281  | 2,889  | 1,981  | 4,870  | 1,157  | 1,178 | 2,335  | 3,974   | 1,474   | 351   |   | 5,799       |   |       |   |
| 大学院総合工学研究科       | 22,266    | 26,888    | 49,154    | 127    | 178    | 305    | 976    | 1,286  | 2,262  | 92     | 165   | 257    | 300     | 300     |       |   | 600         |   |       |   |
| 生体防御医学研究所        | 5,014     | 5,718     | 10,732    | 317    | 176    | 493    | 164    | 348    | 512    | 139    | 119   | 258    |         | 230     |       |   | 230         |   |       |   |
| 応用力学研究所          | 14,503    | 15,969    | 30,472    | 748    | 584    | 1,332  | 358    | 813    | 1,171  | 590    | 415   | 1,005  | 591     | 8,673   |       |   | 9,264       |   |       |   |
| 生産科学研究所          | 4,368     | 6,458     | 10,826    | 308    | 92     | 400    | 90     | 237    | 327    | 310    | 92    | 402    | 41      | 92      |       |   | 133         |   |       |   |
| 石炭研究資料センター       | 19,221    | 2,912     | 22,133    | 356    | 23     | 379    | 406    | 111    | 517    | 116    |       | 116    | 312     | 410     | 25    |   | 747         |   |       |   |
| 大型計算機センター        | 1,195     | 1,306     | 2,501     | 38     | 34     | 72     | 76     | 96     | 172    | 38     | 34    | 72     |         |         |       |   |             |   |       |   |
| 健康科学センター         | 1,136     | 263       | 1,399     | 384    | 17     | 401    | 84     | 23     | 107    | 150    | 6     | 156    |         |         |       |   |             |   |       |   |
| 事務局              | 3,364     | 433       | 3,797     | 34     | 9      | 43     | 26     | 12     | 38     | 251    | 9     | 260    |         |         |       |   |             |   |       |   |
| 合 計              | 1,332,781 | 1,052,718 | 2,385,499 | 22,103 | 18,622 | 40,725 | 42,079 | 31,938 | 74,017 | 11,806 | 8,896 | 20,702 | 131,326 | 106,853 | 4,309 |   | 242,488     |   |       |   |

## 昭和57年度 文 献 複 写 統 計

|                       |      | 電 子 複 写 |         |           | 引 伸 |       |         | マイクロフィッシュ |       |         | 件 数    | 枚 数     | 金 額       |
|-----------------------|------|---------|---------|-----------|-----|-------|---------|-----------|-------|---------|--------|---------|-----------|
|                       |      | 件 数     | 枚 数     | 金 額       | 件 数 | 枚 数   | 金 額     | 件 数       | 枚 数   | 金 額     |        |         |           |
| 窓<br>口<br>に<br>よ<br>る | 学内私費 | 579     | 7,940   | 317,600   | 12  | 136   | 20,130  | 1         | 1     | 380     | 592    | 8,077   | 338,110   |
|                       | 学外私費 | 1,335   | 39,830  | 1,979,305 | 2   | 36    | 6,420   | 1         | 1     | 430     | 1,338  | 39,867  | 1,986,155 |
|                       | 依頼私費 | 568     | 12,217  | 644,197   | 1   | 25    | 1,670   | 3         | 130   | 6,470   | 572    | 12,372  | 652,337   |
| 大<br>学<br>間<br>振<br>替 | 学外私費 | 844     | 10,296  | 585,145   | 1   | 11    | 1,870   | 1         | 1     | 455     | 846    | 10,308  | 587,470   |
|                       | 学外校費 | 5,181   | 61,831  | 3,361,725 | 2   | 53    | 7,020   | 1         | 12    | 5,355   | 5,184  | 61,896  | 3,374,100 |
|                       | 依頼校費 | 589     | 12,297  | 641,873   |     |       |         | 5         | 1,736 | 95,410  | 594    | 14,033  | 737,283   |
| 納告による収入               |      | 485     | 5,729   | 292,845   |     |       |         |           |       |         | 485    | 5,729   | 292,845   |
| 学 内 移 算               |      | 2,663   | 20,855  | 521,375   | 39  | 6,018 | 332,130 |           |       |         | 2,702  | 26,873  | 853,505   |
| B L L D 分             |      | 28      | 433     | 62,500    |     |       |         | 1         | 3     | 2,000   | 29     | 436     | 64,500    |
| 合 計                   |      | 12,272  | 171,428 | 8,406,556 | 57  | 6,279 | 369,240 | 13        | 1,884 | 110,500 | 12,342 | 179,591 | 8,886,305 |

## 昭和57年度 レファレンス統計

| 項<br>目<br>受<br>付 | 利 用 者 別 |       |       |       |       | 内 容 別 |      |       |       |       |
|------------------|---------|-------|-------|-------|-------|-------|------|-------|-------|-------|
|                  | 学 内     |       |       | 学 外   | 合 計   | 所在調査  | 事項調査 | 利用指導  | そ の 他 | 合 計   |
|                  | 学 生     | 教 職 員 | 小 計   |       |       |       |      |       |       |       |
| デ ス ク            | 2,342   | 1,433 | 3,775 | 477   | 4,252 | 2,672 | 201  | 1,282 | 97    | 4,252 |
| 事 務 室            | 29      | 615   | 644   | 821   | 1,465 | 1,232 | 204  | 29    | 0     | 1,465 |
| 合 計              | 2,371   | 2,048 | 4,419 | 1,298 | 5,717 | 3,904 | 405  | 1,311 | 97    | 5,717 |

## 本 学 教 官 著 作 寄 贈 図 書

## 《中央図書館》

小島 恒久 (養)

ドキュメント働く女性 ― 百年のあゆみ ―  
河出書房新社 昭58

林 哲郎 (養)

英語学素描 九州大学出版会 昭58

## 《教養部分館》

上村 弘雄 (養)

九州大学公開講座 5 (ことばの科学)  
九州大学出版会 昭58

岩佐 昌暉 (養)

中国の少数民族と言語 (中国語研究学習双書  
5) 光生館 昭58

小島 恒久 (養)

ドキュメント働く女性 ― 百年のあゆみ ―  
河出書房新社 昭58

重松 泰雄・海老井 英次 (養)

近代作家研究事典 近代作家研究会事典刊行  
会編 櫻楓社 昭58

林 哲郎 (養)

英語学素描 九州大学出版会 昭58

## 《農学部図書室》

高橋 伊一郎 (農)

輸入農水産物 ― 輸入制度と国内流通 ―  
農林統計協会 昭57

武藤 軍一郎 (農)

南佐久農民運動史 (戦前編)  
南佐久農民運動史刊行会 昭58

## 昭和58年度 九 州 地 区 国 立 大 学

## 図 書 協 議 会 実 務 者 連 絡 会 議

&lt;とき 昭和58年9月8日(木)～9日(金) ところ 九州工業大学&gt;

今回は「大学図書館の現状を考える」をメインテーマとして14大学から24名が参加した。

第1日は上記メインテーマを題目とした本学前田学術情報課長の講演と次の4項目について討議がなされた。(カッコ内は提出館)

1. 大学図書館の利用指導について(九大) 2. 大学図書館業務電算化について(琉大) 3. 図書館業務の改善・合理化について(宮大) 4. 図書館業務電算化に伴う職員の健康管理について(芸工大)

第2日は「外国雑誌収集をめぐる諸問題」と「情報検索」についてそれぞれ熊大と琉大及び鹿大と九大から研究発表があり、引き続き上記のテーマを中心として活発な討議が行われた。

本学からは岩井事務部長、前田学術情報課長、中野雑誌掛長、花田目録掛長が出席した。

### 附属図書館商議委員会委員の交替

|      |         | (新)     | (旧)        |
|------|---------|---------|------------|
| 4. 1 | (養) 教授  | 原 田 溥   | 清 水 孝 純    |
| 〃    | (生医研) 〃 | 野 本 亀久雄 | (応研) 光 易 恒 |
| 5. 1 | (経) 〃   | 武 野 秀 樹 | 山 崎 良 也    |
| 6. 1 | (歯) 〃   | 永 澤 恒   | 青 野 正 男    |
| 7.16 | (育) 〃   | 諸 岡 和 房 | 高 野 桂 一    |

### ◆ 人 事 異 動

附属図書館長の異動 塚原博館長の任期満了(7月15日付)に伴い、高野桂一教育学部教授が新たに館長に就任(7月16日付)した。

- 7.15 山口 實(経済学部図書掛) 辞職  
 16 松本 孝文(石炭研究資料センター) 経済学部図書掛  
 〃 山根 良夫(佐賀大学附属図書館) 石炭研究資料センター  
 9. 1 西嶋 武(医学分館受入掛長) 整理課課長補佐  
 〃 〃(整理課課長補佐) 整理課受入掛長 併任  
 〃 中野 周行(文学部図書掛長) 整理課雑誌掛長  
 〃 花田 洋子(閲覧課参考調査掛長) 整理課目録掛長  
 〃 伊藤 繁行(閲覧課相互利用掛長) 閲覧課閲覧掛長

9. 1 田嶋 秀晃(整理課目録掛長) 閲覧課相互利用掛長  
 〃 天野 二郎(閲覧課閲覧掛長) 閲覧課参考調査掛長  
 〃 朝倉 一(医学分館参考調査掛長) 医学分館受入掛長  
 〃 下川 幸士(整理課雑誌掛長) 医学分館参考調査掛長  
 〃 落石 清(整理課受入掛長) 教養部分館受入掛長  
 〃 三嶋 博義(工学部図書掛長) 文学部図書掛長  
 〃 久保 昭夫(教養部分館受入掛長) 工学部図書掛長

### ◆ 会 議 等 (昭和58年7月～9月)

7. 4 学術雑誌総合目録と文編データ記入説明会  
 12 図書館商議委員会(第126回)  
 25～9/28 昭和58年度図書系職員語学研修会(ドイツ語)  
 8. 3～5 著作権実務講習会 於工学部防音講義室  
 4～24 昭和58年度大学図書館職員長期研修 於図書館情報大学他

9. 8～9 昭和58年度九州地区国立大学図書館協議会  
 実務者連絡会議 於九州工業大学  
 12～13 第4回大学図書館研究集会 於国立婦人教育会館  
 20 九州地区国立大学附属図書館事務部長会議 於鹿児島大学  
 27 自然科学系外国雑誌委員会